

智翠館特別コース 合格者インタビュー

(一般選抜型入試編)



◎インタビュアー(聞き手)

:嶋田直人(3年担任)

◎インタビューイ(語り手)

:澤口 睦さん

大阪大学

理学部 数学科

一般選抜合格

:K・Mさん

K大学

理学部 理学科

一般選抜合格


:和田 峻之介さん

広島国際大学

薬学部 薬学科

一般選抜・特待生入試合格(学費全額免除)






嶋田：公立高校や高専など、他の学校ではなく智翠館高校を選んだ理由は？

澤口さん

やっぱり面倒見の良さですね！僕は長男なので、受験のノウハウ等々分からなくて、とりあえず智翠館に行けば先生方に手厚く指導してもらって、受験もいい感じでできるんじゃないかなと思いました。



嶋田：そう思うようになったきっかけは？

澤口さん

実は塾の先生から智翠館の面倒見の良さや一人一人に向き合ってくれる指導や、学年の壁を取り払っての学習合宿や色々と魅力を聞いていたので受けてみたいなって・・・



和田さん

智翠館に入れば、新たな人との出会いによって対人面や学習面でたくさんの刺激が受けられると思ったのが理由ですね。
それに、特進コースだけ校舎が別だったり、少人数制による手厚い指導が受けられたり、他教室の音も気にならず、また、トイレや学習スペースの設備が充実しているなど学習環境の面で充実してるなと思いました。



嶋田：智翠館のオープンキャンパスに参加してみたときの感想は？

澤口さん

体験授業での**N・T先生**が強烈な印象ですね！先生を見て、授業内容はもちろん先生の人間性もユニークで面白そうだなと思いました(話しぶりや自信満々なところが特に！)。



嶋田：KMさんはオープンキャンパスに参加してみてどうだった？

KMさん

S・T先生や**N・T先生**の授業を受けて面白そうだなと思ったし、他にも机が大きいことや、水回り洗面所、トイレがきれいなことがよかったですね。それにみんなが勉強する環境だと自然と自分も勉強するようになれるかも!?ってちょっと思いました。

嶋田：他の高校は検討しなかったのかな？

KMさん

他の進学校だと入寮しなければならないし、少数精鋭で勉強に集中できる環境が良かったし、授業料も私立としては安い方だと思ったので、智翠館にしようと思いました。





嶋田：実際に入学して3年たった今思うことって何？、
入学時に期待していたことと比較してみてどうかな？

和田さん

入学時はみんな一人でバリバリ勉強するのかと思ってましたが、教室内は意外と賑やかでした（それがいい時も悪い時もあったけど...）。一人ひとりの個性が強くて、意見がまとまらなかつたりして大変なこともありましたが、ひとたびまとまると大変なパワーを発揮する感じでしたね。



和田さん

わからないところを教えてくれたり、自分の好きな分野をさらに深く掘り下げて対等に話したりすることができる友達がいることが中学とは違って良いところだと思いました。



澤口さん

でも、クラスに何となく居るだけなら、自分の課題に気づけないので学力をのばせないよね。だから大事なのは、自分で考えて目的意識を持たないといけないということだね。



嶋田：澤口さんは、そういった状況をどう思った？

澤口さん

それはそれで最終的にはどうにかなったので良かったです。ただ途中で英語が本当にやばいと思ったので、自分で頑張るようになって結果的には伸ばすことができました。


KMさん

入学直後は、みんな意外に人前ではガツガツ勉強しないなーと思った。受験の時は、入学したら自分も周りに感化されて勉強するようになるのではないかと期待したけど間違いだったなと思います。やっぱり他力本願じゃダメで、自分で主体的に頑張らないとね！



澤口さん

僕の場合、智翠館の面倒見の良さは期待した通りでしたね。1, 2年生の時も先生に質問したらしっかり答えてくれて、特に3年生になってからは先生の指導に熱意をすごく感じました。そして共通テスト後には一人ひとりのために授業を組んでくれて、本当にフルカバーの指導をしていただきました。




嶋田：一人一人に対応したサポートで特に覚えているのは？

澤口さん

英語とか化学は特に、具体的にどこをやらないといけないのか、というのが自分で分からなかったので自分の苦手なところで集中的に課題演習を入れてもらってました。

澤口さん

英語では今の自分の英語力でもできる解答の方針を、先生が示してくれました。わからない中でも、どう耐えるか、どう解答を整えるのかということを通して思考回路の筋道に沿ってヒントを与えてくれたって感じです。化学も知識問題ではなく、論理的思考を問うような問題を作成してもらって、誰も見たことの無いような問題をどう進めて行くのかということを示してもらいましたね。




嶋田：模範解答から逆算して指導をしてくれるというよりは、澤口君の現在地を見極めてくれて、それを最大限生かした指導をしてくれるということですね。

KMさん

N・T先生の授業の合間に入れてくる、大学レベルの理科の話がとても楽しかったですね。教科書に書いてあることは自分で読めばわかるので、それ以外のところで深い学びを実現してもらいました。





嶋田：将来の夢は何？（どこで、何を、誰と、どのようにしたいか）


和田さん

薬の専門家として薬剤師になり、信頼され、気軽に薬や健康についての相談ができる人になりたいです。また、医療系の友達や同級生による、医師、看護師、薬剤師、歯科医師、助産師などで地域医療を作ってみたいという夢もあります。



澤口さん

僕は数学の研究職になりたいですね。数学を勉強しているときの世界の広がり方に衝撃を覚えました。四則演算から X や座標が出てきて、新たな技を身に付けることによってどんどん世界が広がっていくのが楽しいです。今後は大学数学でより高度な数学を学ぶだけでなく、自分でも新たな法則を見つけたりしてみたいですね。



嶋田：もうちょっと具体的に聞いてもいい？

澤口さん

整数が特におもしろいです。整数って気持ちがいい！最初はチートっぽくておもしろいなと思ったけど、やっていくにつれて、整数が実数の一部だけど複素関数の解にも関わってくるようなところに、無限の可能性を感じてさらにおもしろいなと思いました。

KMさん

高校ではやりたいことを選んで存分に勉強していました。大学でもやりたいことを見つけて、やりたいだけやって、大学に残って研究職につきたいと思います。それが何らか社会の役に立ったらいいなあと思っています。

嶋田：KM君の夢は何かな？

嶋田：大学では何をやりたいか、考えがある？

KMさん

高校ではあまりできなかった生物と哲学をとことんやってみたいですね。


嶋田：他にも、自分の夢に対して智翠館がどんな後押しをしてくれたか話せる？

和田さん

智翠館では医療系志望の生徒たちを集め、地域医療や医療課題など毎週トピックを選んで共に学ぶことをしました。それによって、知らない事件や課題、解決策など自分の志望する分野ではない人たちの意見が聞けて、チーム医療のことについても学べたと思います。

澤口さん

僕の場合は“数理部”と“学び祭”が自分の数学の道を後押ししてくれたと思います。一般の数学の授業はパターンに当てはめるようなものだけど、数理部の数学オリンピックは、パターンに当てはまらない、ぶっとんだものに感じました。



嶋田：KM君は「やりたいことをやりたいだけ学ぶ、今まで学んでない部分を学びたい」という気持ちはどうして生まれたのかな？

KMさん

好きな事を一つに絞ってとことんやるよりも、異なる分野で興味関心を持っていることも大切にしながら、様々な学問分野の基底となる思考力を鍛えたかったからです。

嶋田：澤口君は、後押しについて何か思い出はある？

澤口さん

放課後の数理部は他の授業時間と違った雰囲気、**N・T先生**と一緒に走っている感じがしました。自分が「こうじゃないか？」と思うことに対して、単純に正解不正解を伝えるんじゃなく、「確かにそれもあるかもな」「でも自分はそう思うよ」と同じ目線で寄り添いながら解き明かしてってもらえたように思います。

KMさん

僕の場合はクラスの仲間に恵まれたことかな。疑問を投げかけるとすぐに話に乗ってくれたし。例えば**K君**なら英語、数学なら澤口君って感じで…。学び祭の時には特に澤口君と議論をしたのが大いにプラスになったね。数学の会話に乗ってくれる澤口君という相手は本当にありがたかったな！

澤口さん

KM君は、なんせ知っていることが多くて、知らない視点・知識を聞かせてくれるのですごいと思いました。KM君に僕が全てを教えてもらっているという感覚でした。



嶋田：一般選抜の前に総合型・学校推薦型選抜を受験した人もいるけど、受験してみて（しなくて）良かったなと思うことはある？

和田さん

自分は高校化学についての口頭試問があったので教科書の隅から隅まで読んで理解の抜けがないようにしました。それに面接形式なので、正しく自分の言葉で相手に伝わるような解答を瞬時に言語化する力がついたと思います。結果はともかく、身につけた化学の力を活用して私大の一般入試で特待生という目標も達成できたし...

KMさん

僕は推薦入試の出願書類を準備する中で、自分が何のために大学に行くのかを明確にしていけることができたのが良かったと思います。

嶋田：受験する前と後では自分の中で何がどう明確に変わった？

KMさん

初めは数学が好きで理数の大学に行きたいってだけだったけど、途中から学ぶ意義や伝えるための語学の重要性も実感して、大学では文理の枠を超えて総合的な広い見地で研究していきたいと思うようになりました。

澤口さん

自分の学問のスタンスを固めるという意味では推薦入試もありだとは思いますが、自分はあまり特化型の人間ではなく、ジェネラリストであると気づいたので、受験戦略上の実利的な面で、判定基準もよくわからない推薦入試は避けて一般一本で攻めた方がいいなと思いました。



嶋田：みんな順調に学力を伸ばしてきたけど、何故そこまで無駄なくあげることができたのかな？



KMさん

基本は授業をきちんと聞いてたということですね。整理・理解し、覚えようとするなら、先生方が教材研究をしっかりとされているので、要点が絞られた先生の授業を聞くことが一番コスパがいいと思います。

澤口さん

とにかく授業をきちんと聞くことが大事だと思います。聞いたことで疑問に感じたらその授業時間の中で質問したりして、絶対に分からないことを残さないように授業中に自分の頭の中に落とし込む。そういったことを、小中高と続けてきたことが大きいです。

嶋田：授業中はどんなことを考えながら聞いているの？



澤口さん

公式を覚えるだけではなく、できるだけ自分で導出することを意識していました。数学を1, 2年の時からずっとやりこんでいたからできたんだと思う。数学で学んだ論理を他の科目に当てはめることによって、知識を補えば共通テストレベルまではいけると思います。

嶋田：澤口君は数学の自習であまり問題集をしている様子は無かったけど...

澤口さん

原理を理解すれば、解法の暗記や問題演習は必要ではないと思っていたので... でもやはり受験ではある程度解法を覚えることも大事なので、問題集はある程度は使った方が良かったかもって思います。



嶋田：受験期の自分の勉強の在り方についてはどう評価する？

KMさん

受験期に関しては、勉強のコスパが悪かったように思いますね。数学や物理については、問題解いてから答え見るといふ勉強の仕方がコスパが悪かったのではないかと思います。多くの問題の解法を理解し、理屈を覚えてセンスを磨いていく勉強を優先すればよかった。英語に関しては普段から文章をしっかり読み込んで問題を解かないといけなかったと思います。



澤口さん

直前期にはもう伸ばせないなと思う部分はとりあえず優先順位を下げて、英語はとにかく慣れることに集中し、化学と伸ばせる部分はとことんやりこんでました。教室の机や家だと勉強していると胃が痛くなるけど、自習室のホワイトボードを使って一人で演習したりすると不思議とリラックスできて、頭がさえて解法がビビッとひらめいたりしました。



和田さん

授業で全てを理解することは得意ではないので、わからないところは自分で考え言語化して自分に解説するようにしてました。他には、自分は特にネットを活用して、バスの時や隙間時間などにYouTubeやサイトを見て復習や予習をしたりしてました。論理的思考や解説がメインであり、直感的、視覚的にわかりやすい図や表を多用していたり、巻き戻して何度も同じところ見たりすることができるなど理解を補えるのがネットのいいところだと思う。YouTubeは単元ごとの解説や総まとめなどがあり直前期にも役立ちましたね。また、面接練習や効率的学習のためにchat GPTなどのAIアプリも使ってました。すぐに問題や解説をまとめてくれるので面接対策や解法理解にはとても役に立ちました。AIが自分の学習状況を理解し苦手分野を指摘してくれるなど、自分では気づかないところまでカバーしてくれました。



嶋田：今日のインタビューが、後輩や受験を控えた中学生の皆さんの役に立ったら良いですね！
今日はみんなありがとうございました!!
大学に入学してからも頑張ってくださいね！

